

令和5年度 日之影町立日之影中学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。
 4:期待以上、 3:期待どおり、 2:やや期待を下回る、 1:改善が必要
 ○「評価者」…「第一次」:学校による自己評価、「第二次」:保護者評価、「第三次」:学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第一次	第二次	第三次
学力向上	学力向上の基盤となる、子どもたちの「学びに向かう力」や「進路実現への意欲」を向上させるような教育を推進する。	ひのかけ近未来会議に向けた探究学習(3年生)をはじめとし、全学年で総合的な学習の時間において地域の方々との協働によるキャリア教育に取り組んだ。評価結果としては、職員や保護者からの評価は、期待どおりであった。昨年度に比べ、わずかではあるが、生徒からの評価の下降(-0.2ポイント)がみられた。ひのかけ近未来会議の在り方も含め、9年間の見直しをもって見直していきたい。	3	3	3
	生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導・支援に努め、基礎的な学力の定着を図る。	個に応じた指導については、授業で一人一台のタブレット(フォーム)を活用して、復習の機会を設ける等、生徒一人一人への定着を意識して取り組んだ。評価の結果としては、職員や保護者からの評価は、ともに期待どおりであった。昨年度の評価と比較すると、生徒からの評価は変化がなかったが、保護者からの評価は、最も下降(-0.2)した項目のひとつであった。今後も全教科をあげて指導方法の工夫・改善に取り組み、保護者へ取組を周知したい。	3	3	3
	生徒の思考力や表現力を高めるための指導方法の工夫・改善に努める。	全職員で対話を取り入れた学習指導の在り方について研究し、指導方法の工夫改善に取り組んだ。みやぎ学力学習状況調査の結果では、思考・判断・表現についての結果は、ほとんどの教科で目標値を上回っていた。評価の結果としては、職員や保護者からの評価は、ともに期待どおりであった。昨年度と比較すると、保護者からの評価(-0.1)に比べ、生徒からの評価は、-0.3であり、最も低い項目(3.4)の一つであった。今後も思考力や表現力を高める指導方法の工夫・改善に取り組むとともに力の定着を自覚させていきたい。	3	3	3
	読解力向上を目指した読書活動やICTを効果的に活用した学習を推進する。	読書活動については、地域の方による定期的な読み聞かせや生徒会活動による図書館利用の推進等、良好な環境づくりに取り組んだ。ICTを効果的に活用した学習については、職員研修や研究授業、相互授業参観等により、職員間で研鑽に励んだ。評価の結果としては、職員や保護者からの評価は、ともに期待どおりであり、昨年度とほぼ変わらない評価であった。次年度は、さらに評価をいただけるよう、ICT機器について、効果的な活用方法の情報収集と情報共有に努めたい。	3	3	3
生徒指導・心の教育	道徳教育や人権教育の充実にも努め、ふるさとを大切に、他人への思いやりにあふれた心を育む。	道徳教育については、道徳の時間をはじめ、学校保健委員会(参観日)の機会を活用した性的マイノリティに関する講演会の実施等、保護者や地域の方との連携を図った。総合的な学習の時間では、地域と連携し、ふるさとに関する学習に取り組んだ。評価の結果としては、職員や生徒から最も高い評価(3.6)、保護者からも最も高い評価(3.2)をいただいた。今後も、取組の充実を図りたい。	4	3	4
	生徒一人一人に寄り添った支援や声かけ、教育相談などに努めながら、生徒の自尊感情を高める。	定期的に各学級において、生徒にアンケートの実施やそれに伴う教育相談を行った。週1回の職朝では、生徒の様子について、確実に職員間で情報共有を行ったり、支援の必要な生徒へ組織的に対応したりする等取り組んだ。評価の結果としては、職員や保護者からの評価は期待どおりのものであった。生徒や保護者からの評価ともにほとんど変わっていなかった。今後も取組みの改善を図りたい。	3	3	3
	各行事や学習活動における生徒の活躍の場や活動の支援充実により、生徒が何事にも前向きに取り組む困難を乗り越えようとする態度を育む。	5月の体育大会をはじめ、総合的な学習の時間におけるひのかけ近未来会議(3年)や職場体験学習発表会(2年生)、日之影PR発表会(1年)での発表や、生徒会活動での発表等、できる限り生徒に発表の場を設定するとともに、生徒の主体的な活動となるよう取り組んだ。結果の評価としては、職員からは期待以上、保護者からは期待どおりであった。ともに、最上(職員3.6、保護者3.2)の評価であった。今後も改善を図りながら、充実させたい。	4	3	4
体力向上・安全指導	授業や体育的行事、部活動などの充実にも努め、子どもたちの心身の健康や体力を向上させる。	心身の健康や体力向上を目指し、日頃の体育の授業や水泳、外部講師による武道の授業、体育大会や水泳の授業、駅伝・ロードレース大会等の体育的行事において取り組んだ。部活動については、県大会に多数出場できた。評価の結果としては、職員からは期待以上、保護者からは期待どおりであった。体力テストでの結果向上も目指し、今後も子どもたちの心身の健康や体力向上に取り組むたい。	4	3	3
	校内指導の充実の他、保健関係の通信や連絡によって家庭との連携を強め、健康安全や食育への意識を高める。	定期的な保健室前の掲示板の活用や保健だよりの発行において、時期に合わせた話題提供を行った。外部講師を招聘した学校保健委員会(性的マイノリティに関する学習)や薬物乱用防止教室、給食感謝集会、SOS出し方教室、か母ちゃっ子クラブによる性教育、給食試食会等、保護者の参加呼びかけを行い、家庭との連携を進めた。評価の結果としては、職員からは期待以上、保護者からは期待どおりであった。次年度も充実した取組みを目指したい。	4	3	3
家庭・地域との連携	地域との協働によるキャリア教育を充実させ、子どもたちに郷土愛や将来における自己実現への意欲を高める。	キャリア教育については、ひのかけ近未来会議をはじめとした、各学年において、地域の方々からの多大なご支援のもと、本教育の充実を図ることができた。評価の結果としては、職員からは期待以上、保護者からは期待どおりであり、保護者からの最も高い評価であった。次年度も充実した取組みとなるよう、見直しも図りながら、取り組んでいきたい。	4	3	4
	学校だよりやホームページ等を活用した学校教育の情報発信に努め、学校の教育に対する地域やPTAの理解を促進する。	学校の様子については、各学年の「学校通信」や校長からの「学校だより」、学校ホームページ、保健だより、図書だより等、各家庭や地域に、定期的に発信した。評価の結果としては、職員や保護者ともに期待どおりであった。生徒からも期待通りの評価であった。次年度は、より評価をいただけるよう、情報発信に努めていきたい。	3	3	3